

## 雲海・海霧 幻想的な20点



西胆振の雲海や海霧の写真を出品した写真愛好家ら

### 写真愛好家が作品展 製鉄室蘭病院

「西胆振雲海・海霧写真展INせいいてつギヤラリ」が室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院で開かれ、地域の写真愛好家が撮影した幻想的な作品20点が来場者の目を引いている。芸術家の支援グループ、登別アーティストインレジデンス(小山則彦統括ディレクター)が主催。30日まで。西胆振で見られる雲海や

海霧の素晴らしさを周知しようと初めて開いた。カルルス温泉ホテル岩井勤務の今田丈嗣さんが、6月にオロフレ峠からの雲海撮影に成功したことで写真展を企画。賛同者を募ると12人が集まった。

会場には同峠や測量山、有珠山ロープウエーなどから望むさまざまな雲海・海霧が並んでいる。

今田さんは「写真展を通じて西胆振の雲海を市民に知ってもらうとともに、現地に見に行ってもらえれば」と話している。登別市新生町の主婦、佐藤淑子さん(72)は「白鳥大橋の雲海がきれいだった。機会があれば見に行きたい」と感動した様子で語った。

(池田勇人)